

ばらのまち福山



FUKUYAMA

ふくやま 市議会だより



撮影者 篠原 勇一さん (大門町)

今回の定例会は

3月 6月

No.82

12月 9月

7月臨時会 9月定例会

発行 / 福山市議会 編集 / ふくやま市議会だより編集委員会
発行日 / 2021年(令和3年)10月31日
〒720-8501 福山市東桜町3番5号
TEL.084-928-1136 FAX.084-920-1104

●今月の表紙●

神勝寺の秋
(沼隈町)

7月臨時会・9月定例会の概要	2
企業会計決算審査	3
議案の審議結果	4
一般質問	5～10
委員会の活動	11
議員提案により可決した意見書	12

7月臨時会

令和3年7月臨時会（7月14日・15日／会期2日間）の概要は次のとおりです。

14日 市長が市政の状況と議案の提案理由を説明
一般会計補正予算案1件を、予算特別委員

会を設置して付託。同委員会で議案を審査

15日 議案を審査した予算特別委員会の委員長からの審査結果報告の後採決し、議案を原案どおり可決

予算特別委員会の 審査状況

7月臨時会に提案された、新型コロナウイルス感染症対策の補正予算案について、7月14日に予算特別委員会を設置し審査を行いました。

委員からは、本補正予算は市独自の大規模ワクチン接種会場を設置し、速やかに接種を進め、経済対策として中小事業者の事業継続への支援と市民消費の喚起にも取り組むものであり、財政指標に考慮しつつ速やかな予算執行をすること、感染症対策の情報を正確に把握、発信し、かつ経済活動や市民生活の回復のための確な施策を早期に執行すること、ワクチン接種を迅速かつ円滑に進め、再拡大防止や市民生活の安心・安全を取り戻すため継続的に取り組みを行うこと、一日も早く市民が安心な日常を取り戻すため、さらには、コロナ禍により影響を受けている事業者等の活力につなげていくため、着実かつ早急な執行をすること、ワクチン接種とともに大規模PCR検査をセットで行うことなどを求める意見が述べられ、採決の結果予算特別委員会として原案のとおり可決することに決定しました。

9月定例会



令和3年9月定例会（9月7日～28日／会期22日間）の概要は次のとおりです。

7日 専決処分、令和2年度健全化判断比率、令和2年度資金不足比率の報告の後、市長が市政の状況と19議案の提案理由を説明

13日～16日 議案や市政全般について20人の議員が一般質問

16日質問終了後 市長が14件の追加議案の提案理由を説明

一般会計などの補正予算案3件は、予算特

別委員会を設置して付託、病院事業会計等の決算認定などの4議案は、企業会計決算特別委員会を設置して付託し定例会終了後の9月29日から10月1日まで審査

令和2年度一般会計と11の特別会計の決算認定の12議案は、一般・特別会計決算特別委員会を設置して付託し10月4日から8日まで審査

それ以外の14議案は、所管の常任委員会に付託

17日 4常任委員会でそれぞれ議案を審査

21日・22日 予算特別委員会で議案を審査

28日 議案を審査した4常任委員会と予算特別委員会の委員長から審査結果の報告があり、それぞれ採決し、17件の議案を原案どおり可決

教育委員会の委員の任命について同意
議員提出の意見書案2件を可決



この定例会で決まったこと

(一部をお知らせします)

【市長提出議案】

■補正予算

○ 本年5月から9月までの間に

売上相当額が前年または前々年同期と比較して30%以上減少している市内中小事業者へ応援金を支給

をより一層推進します。(人権尊重のまちづくり条例の制定)

○ 服部公民館と駅家ふれあいプラザを集約し、服部交流館を設置します。(交流館条例の一部改正)

○ 医療機関において実施するPCR検査や、入院医療費などの公費負担分の費用

○ 広瀬小学校および広瀬中学校を廃止し、廃止後の旧学校施設を活用して2022年(令和4

○ 地域振興に資する民間事業者の設備投資に対して、無利子資金の貸し付けを行うふるさと融資を実施するための費用

年)4月に施設一体型の広瀬学園小学校および広瀬学園中学校を設置します。(市立学校設置条例の一部改正)

○ 7月、8月および9月の大雨により被災した道路、河川などの復旧事業費

■その他
○ 排水施設(下御領地区)の整備工事に着手します。

■条例

○ 差別のない、誰もが真に大切にされる人権尊重のまちづくり

○ 東交流館、伊勢丘交流館および加茂交流館の新築工事に着手します。

令和2年度
企業会計決算を審査

9月定例会に提案された令和2年度の企業会計(病院、水道、工業用水道、下水道の各事業会計)決算認定議案を、企業会計決算特別委員会(委員18人)を設置し、9月29日から10月1日まで審査しました。

9月29日に帳簿等の書類審査、30日に質疑を行い、各事業会計の予算が効果的に執行されているかなどを審査しました。10月1日には、それぞれの事業会計について討論を行い採決し、決算特別委員会として、それぞれの決算を認定することに決定しました。

なお、この結果は12月定例会の初日(11月30日開催予定)で委員長報告を行います。

令和2年度企業会計の経営成績

会計	収益	対前年度比	費用	対前年度比	当年度純利益	対前年度比
病院	212億8,062万円	6.0%	197億7,977万円	△1.4%	15億 85万円	13,355.0%
水道	84億5,637万円	△0.5%	67億6,034万円	0.4%	16億9,603万円	△4.2%
工業用水道	28億8,968万円	△9.1%	21億2,005万円	1.2%	7億6,963万円	△29.0%
下水道	117億9,434万円	0.8%	99億 866万円	△2.3%	18億8,568万円	21.0%

(注)端数整理のため、差し引きが合わない場合があります。

令和3年9月定例会 議案の審議結果一覧

○は賛成、×は反対

付託委員会	議案名	水曜会 (14人)	公明党 (7人)	誠友会 (6人)	市連 (4人)	民共 (3人)	日本共産党 (3人)	新政クラブ (3人)	無所属 (1人)	採決結果
総務	人権尊重のまちづくり条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
	市民参画センター条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	交流館条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	(仮称)東交流館新築工事請負契約締結	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	(仮称)伊勢丘交流館新築工事請負契約締結	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
	(仮称)加茂交流館新築工事請負契約締結	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
民生福祉	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
文教経済	(仮称)鞆町並み保存拠点施設整備工事請負契約締結の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市立学校設置条例の一部改正	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
建設水道	LED街路灯整備事業委託契約締結	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	排水施設整備工事(下御領地区)請負契約締結	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	土地区画整理事業による町の区域の設定	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	市道路線の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
予算特別	令和3年度一般会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度病院事業会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会付託省略	教育委員会の委員の任命の同意	○	○	○	○	×	○	○	○	同意
	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	地域住民のいのちと健康を守るため医療体制の充実を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

賛否は、本会議後に会派等に確認したものです。議案名の「福山市」等は一部省略して表記しています。

一般質問

この定例会では、議案や市政全般について、20人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。

その概要は、次のとおりです。
（一）内には、各党派等からの質問申し出時間を記載しています。

会派名など	質問者数	質問時間
水曜会	6人	370分
公明党	5人	215分
誠友会	4人	195分
市民連合	2人	150分
日本共産党	1人	120分
新政クラブ	1人	70分
無所属	1人	30分

*一般質問の録画放送をインターネットで視聴することができます。（詳細は下段）



おた 大田 祐介
水曜会
70分

山野小・中学校再編後は

問 ①地域資源を生かした「林間学校」に衣替えし、学習の一環として市内全域から多くの児童生徒を呼び寄せては。②近隣市町で林間学校を設置し実績を上げている例は。

答 ①ご提案も踏まえ、山野地域の今後の在り方などを地域や保

小中学校の自然体験活動は

護者の意見を聞きながら協議する。②三次市の廃校後の校舎を改装した体験交流宿泊施設は、野外活動等の場として利用され地域の活性化につながっていると聞いている。

問 取り組み状況と成果は。

答 ウォークラリーや農業・漁業体験等を実施している。草木や生き物に直接触れ、仲間と協力して活動する体験を通して自然のすばらしさを感じ、新たなことにチャレンジする意欲が高まっている。



さかきひろし 神原 則男
水曜会
50分

人権尊重のまちづくり条例は

問 条例制定の経緯と目的は。また、今後の取り組みは。

答 本市では、人権施策基本方針に基づき、さまざまな人権課題の解決や全ての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権施策の推進に取り組んできた。しかし、市民意識調査の結果から、

差別や偏見は今もなお存在していることを受け、大学の教授などで構成する福山市人権施策有識者検討会議からの提言により、誰もが真に大切にされる社会の実現に向けて、より一層人権施策を推進するため条例を制定することとした。今後は、学識経験者や弁護士、人権関係団体の代表者などで構成する福山市人権施策推進審議会を立ち上げ、人権施策の基本理念に関する事項、教育および啓発の推進、相談体制・支援体制の整備などを議論し、それを踏まえ人権施策基本方針の改訂に生かしていく。



いしぐち さとし 石口 智志
水曜会
70分

WiFi整備は

問 ①公民館などへの整備状況と具体的な活用事例は。②市民病院へWiFi環境整備業務委託料が計上されているが、事業の具体は。

答 ①昨年度、公民館、交流館など92施設のうち83施設にフリーWiFiを整備し、ワクチン接

種のオンライン予約やスマートフォン教室などに活用している。残り9施設は光ファイバの整備完了後、速やかに整備する。②新型コロナウイルスの感染拡大に伴い入院患者への面会制限を実施しており、ビデオ通話の需要が高まっている。そのため全ての病室と外来の待合にWiFi環境を整備し療養環境の向上を図る。併せて、オンラインによる学会や研修への参加、最新の医療情報の収集などに活用し、質の高い医療の提供に努める。

* 9月定例会の一般質問の録画放送を視聴する場合
各議員記事のQRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画が視聴できます。
また、[福山市のホームページ](#) → [福山市議会](#) → [議会中継](#) → ここからも視聴できます。



羽田 俊介
水曜会
(60分)

**福山高等学校への
野球部監督の招聘は**

問 野球部強化の目的は。

答 卓越した指導力を持つ迫田監督を招聘し、中期的には県内上位、甲子園を狙える力をつけることをめざす。このことは、野球部のみならず全ての生徒の夢の実現、全教育活動の活性化につながると

考えており、生徒だけでなく教職員、そして市内の学校、地域にとどまらず、大きな刺激とエネルギーをいただけるものと期待している。

ドローンフライトガイダンスは

問 作成の目的は。

答 今年度は、安全を確保しながら幅広く活用できるように、飛行ルールや各分野での活用事例などをまとめたガイダンスを作成する。今後、実証実験を進め、人手不足の解消や災害対応など、さまざまな分野での活用促進につなげる。



石田 実
水曜会
(60分)

地域公共交通は

問 現状の課題と取り組みは。

答 近年のバス利用者の減少に加え、長引くコロナ禍によるさらなる利用の低迷で市民の移動手段の維持、確保が一層困難になっている。そのため、これまで「福山・笠岡地域公共交通網形成計画」に基づき、バス接近表示システムの

設置や公共交通マップの作成など利用促進に取り組んできた。

また、乗り合いタクシーやおでかけ支援事業により移動手段の確保に取り組んでいるほか、コロナ禍による交通事業者の経営状況の悪化に対応するため、各種の支援策を講じて下支えを行っている。

今後は、先端技術の活用などの新たな取り組みを加えながら、地域特性や利用実態に合った地域公共交通ネットワークの形成につながるよう、公共交通網形成計画を見直していく。



木村 素子
水曜会
(60分)

※地域共生社会は

問 ①福祉の視点での取り組みは。

答 ①これまで介護、障がい福祉、子育てなどの各関係機関が連携し、地域共生社会の実現に取り組んできた。近年では、介護と

子育てのいわゆる「ダブルケア」などの課題が顕在化しており、これらに対応するため、包括的に支援できる体制づくりに取り組む。

②人口減少などで、これまでの役員中心の地域づくりは大きな転換期を迎えている。これからは住民や地域内外の多様な主体の参画による「みんなで共に創るまちづくり」への転換により、持続可能な地域共生社会をめざす。再構築が進み住民同士のつながり、暮らしの支え合いが維持、強化されることは、福祉がめざす包括的な支援体制の構築にもつながると考える。



野村志津江
公明党
(50分)

市民病院におけるがん治療は

問 ①拠点病院としての機能や実績は。

答 ①高度な治療の提供、患者や家族への情報提供や相談支援、地域の医療従事者等への研修、緩和ケアの提供などが挙げられる。令和2年度は、手術2487件、

化学療法7678件、放射線治療9059件、面談や電話による相談支援を1796件行った。医療従事者への研修は2回開催し、35名の医師、看護師が参加した。

②コロナ禍で対面での相談支援が困難になっているが、患者や家族のニーズを把握しウェブを活用した相談やおしゃべり会などの実施を検討している。引き続き、質の高い治療や療養生活が行えるよう緩和ケアの早期の提供にも取り組み、地域の医療機関と連携しながら患者や家族の思いに寄り添った支援に努める。

※地域共生社会：制度・分野ごとの縦割りや、支え手・受け手という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が「我がこと」として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて「丸ごと」つながることで、住民一人一人の暮らしと生きがいを、地域を共に創っていく社会



奥陽治 (40分)
公明党

浸水対策の進捗状況は

問 福川の排水機場整備は。

答 現在、県が瀬戸川への吐き出し口や排水機場内の水槽の工事を行っている。来年度からはポンプの製作に着手する予定と聞いており、完成後には排水能力が約3倍に増強される。
引き続き抜本的な浸水対策を計



山谷久美子 (40分)
公明党

(仮称)子ども未来館は

問 第1回検討委員会、市民懇話会での意見は。

答 検討委員会では意義やコンセプトについての意見のほか、巨大な施設や大型設備の設置はメンテナンスや更新に課題がある等の意見があった。懇話会では地域や地元企業、大学の持つ技術を知る

画的に実施し、治水効果を高め、市民の安心・安全につなげる。

経済対策は

問 県知事との会談における事業者支援などの協議の具体は。

答 事業継続や雇用維持を支えるため、感染症拡大防止協力支援金の早期支給等への取り組みを確認し、研究開発投資の促進等についても意見を交わした。
今後地域経済の早期回復とさらなる発展に向け、県と連携し事業者支援に取り組む。

ことができる等の期待があった。

(仮称)まちづくり支援拠点施設は

問 複合施設整備に踏み切ったいきさつは。

答 市民参画センターは約50年、老人大学は60年以上経過し、いずれも施設の更新が課題であった。高齢化などによりこれまでの役員中心の地域づくりは大きな転換期を迎えており、施設の集約、複合化を図りながら新たなまちづくりの拠点整備を検討してきた。



小林聡勇 (40分)
公明党

中小事業者への支援は

問 ①これまでに支援した飲食店、観光関連・繊維関連事業者以外で、売上げが下がっている事業者に対する直接支援の考えは。

答 ②事業者への周知は。また、相談窓口は。

①新たに「中小事業者売上



塚本裕二 (45分)
公明党

大雨による避難体制は

問 ①自主防災組織の現状は。②学校の防災教育の取り組みは。

答 ①役員の高齢化等で活動の維持が難しいとの課題があるため福山防災大学の防災士養成講座で役員への資格取得の支援や防災リーダーと連携した出前講座の開催などによる人材育成に努めている。

回復応援金」を創設し、5月から9月までの緊急事態措置などの影響を受け、売上げが大きく減少した卸・小売・サービス業を中心とした幅広い事業者を対象に最大100万円を市が独自に支援する。

②広報紙、ホームページなどに加え、福山市産業支援者連絡会議や各事業組合・団体、金融機関に協力を求め、支援制度の周知に取り組んでいる。

また、事業者からの相談は、フクビズをはじめ商工会議所、商工会などと連携し対応に努める。

②自然災害の現状や原因を理解し地域のハザードマップなどを活用して具体的な災害を想定しながら災害時に的確な判断と適切な行動ができるよう取り組んでいる。

福山城築城400年記念事業は

問 福山城博物館のリニューアルは。

答 福山城の歴史を中心に、水野勝成公の築城とまちづくりや阿部正弘公の内政や外交の功績などについて、デジタル技術も活用し分かりやすく迫力ある展示をする。



あらたま 賢佑
誠友会
(40分)

**新型コロナウイルス感染症
対策は**

問 ①今後のワクチン接種の見通しは。

②2回目の接種は、1回目の接種から適切な期間を経て打つこととされているが、今後の見通しは。

答 ①まず、10月の早い時期ま



たなか ゆずお
誠友会
(45分)

※コミュニティ・スクールは

問 ①本市では、令和4年4月に開校予定の「想青学園」でコミュニティ・スクールを取り入れるとのことだが、現在計画している取り組みは。

答 ①開校準備委員会に地域・保護者・学校の代表による地域連

でに市民の約7割の接種をめざす。さらなる接種率の向上に向け、現在、モデルナ社製ワクチンを用いた本市独自の大規模接種会場の設置も検討している。

②現在、本市の集団接種で2回目の予約が取れていない方に対して随時、専用予約枠を設け、接種機会を確保している。なお、8月9日以降は集団接種の予約受け付けに当たり、より確実に2回目の接種をしていただけるよう、1回目の予約日時から3週間後の同時刻、同会場を自動的に2回目として予約する方式に運用を見直した。

携部会を設置し各地域の学習素材を活用した教育内容を協議するとともに、コミュニティ・スクールの目的、取り組みなどを学習し、地域住民や保護者の教育活動への関わり方を考えている。

開校後は、地域住民や保護者の代表が学校運営協議会の委員として、校長が作成する基本方針の承認や教育活動への意見具申など学校運営への参画を通して、地域と共にある学校づくりを進めていく。

②想青学園の開校後、全ての市立学校に順次導入していく考えである。



こばやし たかひろ
誠友会
(55分)

御幸町の浸水対策は

問 進捗状況は。

答 県はこれまで吉野川、加茂川の河道掘削を実施し、昨年度は吉野川の堤防浸透対策の工事に着手した。今年度も引き続き掘削および工事に取り組むと聞いている。本市では新設する森脇ポンプ場のポンプの能力や台数、配置等を



のうえの まさよし
誠友会
(55分)

福山城築城400年記念事業は

問 城泊の専門家による評価と今後の取り組みは。

答 昨年度、観光庁の支援で行った専門家派遣事業では、駅に近い立地条件や、櫓や広場など福山城の持つポテンシャルについて一定の評価をいただいた。今後も月見櫓を候補に、施設や空間を一体的

検討してきた。今年度は雨水の排出先となる芦田川を管理する国や関係機関などと協議するとともに詳細設計に取り組む。

保育所業務の効率化は

問 これまでの取り組みは。

答 今年度は全公立保育施設にタブレット端末を整備し、施設間の情報共有等に活用するなど、効率化につなげている。

また、**※スマート保育**の導入に向けた実証実験を11月から開始する予定である。

大雨で流失した下山守橋は

問 被災原因と今後の復旧は。

答 平成30年7月豪雨に伴う復旧で、構造上の制約で橋桁に軽量のコンクリートを採用したことや水圧の影響を受けやすい河川環境も一つの要因と推測している。

現在、残った橋脚などの調査を行っており、その結果を踏まえ、復旧に向け速やかに国と協議を進める。

※コミュニティ・スクール：学校と地域住民などが力を合わせて運営に取り組むことができる「地域と共にある学校」への転換を図るための有効な仕組みであり、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めることができる。

※スマート保育：デジタルサービスを活用し、子どもの安全、保護者の安心、保育業務の負担軽減を実現する次世代型保育



池上 文夫
いけがみ ふみお
市民連合
(75分)

**新型コロナウイルス感染症
対策は**

問 入院できない感染者のための臨時医療施設などの設置は、

答 医療逼迫を回避するため、できる限り多く宿泊療養施設を確保したいと考えてきた。知事との会談で、限られた医療資源の効果的な活用策を提案し、新たに宿泊



小山 友康
こやま ともやす
市民連合
(75分)

人権尊重のまちづくり条例は

問 本市では、まちづくりの基本理念として人間環境都市を掲げ、その実現のため恒久平和の維持、基本的人権の尊重および市民本位の行政を推進している。条例制定への市長の決意は、

答 これまで人権施策基本方針に基づき、さまざまな人権課題の

療養施設を2カ所確保した。酸素ステーションの設置も要請し、設置に向け検討も始まった。具体的な活用方法は今後、県と協議する。

学習端末を利用したいじめは

問 現状と取り組みは。

答 1学期にいじめに発展した事例の報告があった。また、誹謗中傷につながりかねない事例もあった。東京で小学生が自殺した報道もあり、臨時校長会議を行った。日頃から利用状況を把握し、面談等も通して早期発見に努めていく。

解決と、全ての市民の人権が大切にされる社会の実現に向け、人権施策の推進に取り組んできた。しかしながら、市民意識調査の結果から、さまざまな差別や偏見が今もなお存在していると受け止めている。

このような状況の中、全ての市民の基本的人権が尊重される社会を実現するためには、市民一人一人が人権問題を正しく理解した上で、自ら行動することが重要と考える。

誰もが真に大切にされる人権尊重のまちづくりを推進していく。



高木 武志
たかぎ たけし
日本共産党
(120分)

学校統廃合は

問 山野小・中学校の統廃合が1年延期されたが、小規模特認校として残してほしいという地域や保護者の要望がある。計画は見直すべきでは。

答 山野地域の再編後の教育機能は、今後設置する地域の持続、活性化に向けた協議の場で議論する。



宮地 毅
みやち つよし
新政クラブ
(70分)

子どもの読解力低下は

問 全国学力・学習状況調査の結果、小学生の国語では説明文を読んで要約する記述問題、中学生の数学ではデータの傾向を読み解き統計的に説明する記述問題の正解率が最も低く、読解力の低下を感じた。この結果をどう捉え、今後に生かすのか。

問 8月に補正給付における食費の負担額が改善され、本人の年金収入が120万円超の施設入所者の場合、年26万4千円の負担増となる。影響を調査し負担増分は本市独自に軽減すべきでは。

答 今回の制度改正は、収入等で負担能力がある方に相応の負担をいただくことで、利用者間の公平性を高めるものと考えている。本市独自の軽減策は考えていない。

答 正解率50%未満の設問の約6割が記述式の問題であり、その特徴である文章や問題を正確に理解し、解釈したことや考えたことの理由を説明するなどの力を身に付けるには、読書活動の役割が大きいと考える。

本市では、自ら本を開き読もうとする場として学校図書館整備を計画的に進めている。現在作成中の第3次子ども読書活動推進計画では、本を読み、親しむだけでなく、分かったことや考えたことを「話す、書く」といったアウトプットの活動をより充実させていく。

介護保険制度改正は

手話通訳のご案内

市議会では、2017年（平成29年）から耳の不自由な方のために本会議で常時手話通訳士を配置し、会議のやりとりを手話通訳しています。

インターネットでの生中継や録画中継で手話通訳付きの映像が視聴できます。

生中継、録画中継は、市議会のホームページから視聴できます。

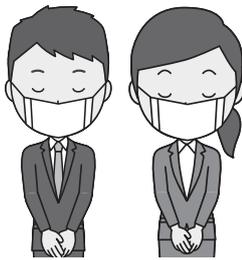
ぜひご利用ください。



手話通訳付きの中継の様子

2021年度（令和3年度） 議会報告会の開催中止について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、2021年度（令和3年度）の議会報告会の開催は中止としました。



無料アプリで
「ふくやま市議会だより」を配信中！



問 1月のアンケートでは、回答した市民の過半数が市長の掲げた5つの挑戦の効果を実感していないとの評価であった。市長は過去、市民が変化を感じ始めていると自信をのぞかせていたが、市長と市民の間には行政に対する認識に関して多大

市政モニターアンケートは



答 取り組みが道半ばである評価と謙虚に受け止めているが、福山ネウボラなど多くの成果につなげることができた。5つの挑戦は中長期的な取り組みが中心で、効果が表れるのは2023年度と考える。一方、関心についての問いは「とても関心がある」「関心がある」の回答が全ての項目で7割を超えており市民の受け止めとの間にギャップはないと感じている。感じられ始めた変化を確かな成果につなげ引き続き全力で取り組む。

なギャップがあるのでは。

「ふくやま市議会だより」の 表紙写真・絵画・イラスト大募集！

募集内容

福山市の魅力を紹介できる写真、絵画、イラスト
※縦型のもので、応募者が撮影または作成したもの
※季節感のある作品歓迎！

応募締切

2月1日発行号：11月25日（必着）
※作品の応募は通年で受け付けます。
※採用者には記念品を進呈します。

公募要領は
こちら



詳しくは、

福山市のホームページ → 福山市議会 →
市議会だより → ここからもご覧いただけます。

12月定例会の開催予定

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
		★本会議 (市長提案説明など)			議会運営委員会	
5	6	7	8	9	10	11
★本会議 (一般質問)	★本会議 (一般質問)	★本会議 (一般質問)	★本会議 (一般質問)	★本会議 (一般質問など)	常任委員会	
12	13	14	15	16	17	18
予算特別委員会	予算特別委員会				議会運営委員会 ★本会議 (委員長報告・討論・採決など)	



- 本会議・委員会とも午前10時から開会の予定です。
(ただし、12月17日の本会議は午後1時からの予定)
- ★印の日は、本会議の生中継をインターネット配信します。
- 詳しくは、議会事務局までお問い合わせください。☎084-928-1136

委員会の活動(7月～9月)

7月から9月末までの委員会の主な活動状況は、次のとおりです。



◆常任委員会

開催日	調査・審査項目	開催日	調査・審査項目
総務	8/30 <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画センターの運営状況 人権尊重のまちづくり条例の制定 不安を抱える女性の相談等支援事業 国民健康保険の傷病手当金の適用期間の延長 (仮称) 地域戦略(素案) など 	文教経済	8/30 <ul style="list-style-type: none"> 仙酔島活性化基本構想の策定 地産地消推進運動 路上喫煙防止の取り組み コロナ禍における各学校の取り組みなど
	9/17 <ul style="list-style-type: none"> 付託された議案(6件)の審査 など 		9/15 <ul style="list-style-type: none"> 市立学校設置条例の一部改正
民生福祉	8/30 <ul style="list-style-type: none"> 2021年度(令和3年度)敬老行事の概要 新型コロナウイルス感染症に係る対応 市民病院の運営 など 	建設水道	8/30 <ul style="list-style-type: none"> バス路線の廃止に伴う乗り合いタクシーの導入 芦田川かわまち広場(親水広場)における都市・地域再生等利用区域の指定 ダム貯水量および降水量の状況 など
	9/17 <ul style="list-style-type: none"> 付託された議案(1件)の審査 「高齢者保健福祉計画2021」に基づく施設整備 		9/17 <ul style="list-style-type: none"> 付託された議案(5件)の審査 歩行者利便増進道路の指定 など

◆特別委員会

	開催日	調査項目
都市整備	9/6	<ul style="list-style-type: none"> 福山駅前広場の再整備 幹線道路網の整備に関する調査 など
地方創生調査	9/28	<ul style="list-style-type: none"> 総合戦略の評価 など
公共施設再構築	9/2	<ul style="list-style-type: none"> (仮称) まちづくり支援拠点施設の整備 など

各委員会の詳しい内容は、市議会ホームページの「会議録検索」からご覧いただけます。
 なお、委員会記録の作成には日数を要しますので、ご了承ください。

議員提案により可決した意見書

全会一致で可決した意見書を、内閣総理大臣などに提出しました。要旨は次のとおりです。

コロナ禍による厳しい財政状況に対処し 地方税財源の充実を求める意見書

新型コロナウイルス感染症のまん延により地方財政は、巨額の財源不足が避けられない厳しい状況に直面している。地方自治体ではコロナ禍への対応はもとより、地域の防災・減災、雇用の確保などの喫緊の課題に迫られているほか、社会保障関係経費や公共施設の老朽化対策費など、将来に向け増嵩する財政需要に見合う財源が求められ、地方税制の充実確保が強く望まれる。

よって、政府においては、2022年度（令和4年度）地方税制改正に向け、次の事項を確実に実現するよう強く要望する。

- 1 2022年度（令和4年度）以降3年間の地方一般財源総額は、社会保障関連経費が増大している現状を踏まえ、十分な総額を確保すること。
- 2 固定資産税は市町村の基幹税であり、制度の根幹に影響する見直しは行わないこと。生産性革命の実現や新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じた措置は、国の責任で対応すべきものであり、現行の特例措置は今回限りとする。
- 3 土地に係る固定資産税の負担調整措置は2021年度（令和3年度）限りとする。
- 4 自動車税・軽自動車税の環境性能割の臨時的軽減のさらなる延長は、地方財政に影響を及ぼさないようにすること。
- 5 炭素に係る税を創設または拡充する場合は、その一部を地方に税源配分すること。

地域住民のいのちと健康を守るため 医療体制の充実を求める意見書

新型コロナウイルスによるパンデミックは日本国内の感染症病床や集中治療室不足、保健所など公衆衛生体制不足により、感染拡大初期から保健所も厳しい対応を余儀なくされた。また、医療、介護などの人員不足は、医療や介護現場の深刻な疲弊を招いている。コロナ感染者の早期発見や早期隔離と適切な治療を行うためにも、医療・公衆衛生体制が逼迫する事態を繰り返すことのないよう、体制等の拡充が求められる。

2019年（令和元年）9月、厚生労働省は「再編統合の必要性について特に議論が必要」とした424の公立・公的病院リスト（後に約440、広島県内は12病院）を公表した。しかし、公立・公的病院は感染症病床の対応を中心的に担っており、今後の新たな感染症の拡大の際の対応や、災害医療を担う役割も踏まえて、再検討が必要と考える。

よって、政府においては、地域住民のいのちと健康を守るため、次の措置を講ずるよう強く要望する。

- 1 医師、看護師、介護職、保健師等の増員が必要であることを認識し、増員計画を示すこと。
- 2 公立・公的病院の再編統合「再検証対象医療機関」については再検討し、地域住民が医療の心配をしなくても暮らせるよう感染症病床の増床や、急性期・回復期機能など実態に応じた病床数を確保すること。



(能宗正洋)

霜月を迎え、今年も残すところ2カ月となりました。
新型コロナウイルスは新たに変異株が猛威を振るい、なかなか収束が見通せない状況です。本市でもワクチン接種が進んでいます。安全な生活を確保するため、気を抜くことなく新たな生活様式での対応をしながら、不要不急の外出を控え、一步一步前進していきましょう。
新しい年には、福山の明るい未来が開けることを祈念しています。

編集後記



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

【ホームページアドレス】 <https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/gikai/>

【メールアドレス】 giji-chousa@city.fukuyama.hiroshima.jp

※[QRコード]は(株)デンソーウェアの登録商標です。

市議会 は
こちら

